

≪2017年度 第61回作業療法全国研修会 新潟会場 プログラム≫ 会場:朱鷺メッセ

※テーマ及び講師は予定です。

～ 地域につながる作業療法の理論と実践 ～

12月9日(土)		第1ホール	第2ホール	第3ホール	第4ホール
1 日 目	9:45 ~	開会式			
	10:00 ~ 11:20	協会指定講座1 官公庁講演 「地域につながる作業療法の理論と実践 ～地域包括ケアシステム構築に向けた、地域につなげる作業療法士への期待～」 小林 毅(厚生労働省老健局高齢者支援課)			
	11:30 ~ 12:30	公開講座: 鹿児島県作業療法士会の取組み 「児童発達支援における作業療法士の視点地域と繋がる役割～アイデア集作成とその活用を通して～」 井上 和博(鹿児島大学)			
	12:30 ~ 13:30	昼休み			
	13:30 ~ 14:30	「脊髄損傷者に対する活動参加へのアプローチ～2020東京パラリンピックを目指す車椅子テニス少女のOT展開～」 松本 琢磨(神奈川県リハビリテーション病院)	「“家に帰りたい”の真意～ナラティブから読み解くその人らしさとは～」 上田 章弘(介護老人保健施設 恵泉)	「子どもの家族の思いをくみながらの支援～発達障害領域におけるMTDLP実践から～」 平野 大輔(国際医療福祉大学)	「精神障害領域におけるMTDLPの実践」 島田 岳(医療法人清泰会メンタルサポート そよかぜ病院)
	14:40 ~ 15:40	「脳卒中患者の生活支援 ～障害の捉え方と介入方法～」 佐尾 健太郎(山梨リハビリテーション病院)	「高齢者の下部尿路機能障害(排尿障害)に対する評価とアプローチ～排尿自立支援・転倒予防を目的として～」 今西 里佳(新潟医療福祉大学)	「児童の特性に応じた教育支援に必要な作業療法士の視点～学習と生活のマネジメント～」 辻 薫(大阪発達総合療育センター)	「地域生活支援の理解と支援のポイント」 鶴見 隆彦(湘南医療大学)
	15:50 ~ 16:50	「神経難病患者の活動と参加に求められる作業療法士の視点～実践を通して～」 楠原 敦子(国立病院機構 高松医療センター)	「医療機関や高齢者施設におけるシーティング介入と作業療法士の視点が見える意義」 岩谷 清一(永生病院)	「発達障害児における問題行動への対処」 岩崎 清隆(ぶねうま群馬)	「多様な生き方に対応する作業療法の可能性」 遠藤 真史(那須フロンティア 地域生活支援センターゆずり葉)
	17:00 ~ 18:00	協会指定講座2 協会長講演 「地域包括ケアシステムに向けての作業療法の取組み」(仮) 中村 春基(日本作業療法士協会 会長)			
19:00 ~	交流会				
12月10日(日)		第1ホール	第2ホール	第3ホール	第4ホール
2 日 目	9:00 ~ 10:00	「安全な交通社会に貢献する作業療法士の役割」 藤田 佳男(千葉県立保健医療大学)	「予防的・健康増進作業療法プログラム「65歳大学」の概要と実践紹介」 小林 法一(首都大学東京)	「子どもとの遊びにおけるtherapeutic use of self」 土田 玲子(NPO法人 なごみの社)	「精神障害領域における作業を用いた就労支援の実践例」 芳賀 大輔(NPO法人日本学び協会ワンモア)
	10:10 ~ 11:10	「作業療法の魅力 ～その人らしい生活を支える技能とは～」 杉原 素子(国際医療福祉大学)	「暮らしに寄り添う認知症への対応」 比留間 ちづ子(若年認知症社会参加支援センター ジョイント)	「乳児期から小学校時期までの、発達障害や運動障害がある子どもたちへ幼稚園・保育園、小学校やその他の地域資源に参加するための作業療法支援の実践」 松本 政悦(よこはま港南地域療育センター)	「作業療法再考 ～therapeutic use of selfと見える化～」 富岡 詔子(岡田公民館)
	11:20 ~ 12:20	協会指定講座3 公開講座・模擬ケア会議 「地域ケア会議における作業療法士の役割」 佐藤 孝臣(株式会社ライフリー)			
	12:30 ~	閉会式			
<p>※講座内容及び講師につきましては、調整させていただいている講座もございます。確定いたしましたら、全国研修会ホームページ、協会誌などで随時掲載させていただきます。 ※主催者及び講師の都合により、講演日程、内容等を変更させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。</p>					